

『大原社会問題研究所雑誌』 2017 年度総目次

- (1) 2009～2016 年度の総目次については各翌年度 4 月号を参照されたい。
- (2) 『資料室報』第 1 号～『大原社会問題研究所雑誌』第 599・600 号までの総目次については、2008 年 10・11 月号 (No.599・600) を参照されたい。
- (3) なお、大原社会問題研究所 Web サイト (<http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/oz/>) でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997 年 4 月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、Web 上での公開を行っている。

2017 年 4 月号 No.702

【特集】第 29 回国際労働問題シンポジウム グローバル・サプライチェーンにおける労働の課題	
特集にあたって	藤原千沙
2016 年の ILO 総会について	田口晶子
政府の立場から	勝田智明
労働者の立場から	須田 孝
使用者の立場から	松井博志
世界の縫製工場バングラデシュで何が起きているか	長田華子
労働 CSR と競争力強化	後藤健太
パネルディスカッション	
参考資料	
■書評と紹介	
ナイラ・カピール著／遠藤環・青山和佳・韓載香訳『選択する力 ——バングラデシュ人女性によるロンドンとダッカの労働市場における意思決定』	平野恵子
森千香子著『排除と抵抗の郊外——フランス〈移民〉集住地域の形成と変容』	鈴木宗徳
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』2016 年度総目次	
月例研究会 The International Association of Labour History Institutions (IALHI) 第 47 回ヘルシンキ大会について	榎 一江
所報	2016 年 12 月

2017 年 5 月号 No.703

【特集】女性の管理職への「昇進」(1)	
特集にあたって	藤原千沙
労働研究における女性の昇進問題	武石恵美子
女性管理職の数値目標の達成に向けた取り組みと組織変化	駒川智子
女性管理職の仕事とキャリア——デンマーク調査からの考察	石黒久仁子
■証言：戦後社会党・総評史	
日本社会党・総評時代の日本共産党の労働組合運動の政策と活動について ——1970～80 年代の総評との関係を中心に 梁田政方氏に聞く	
■書評と紹介	
村串仁三郎著『高度成長期日本の国立公園——自然保護と開発の激突を中心に』	大平佳男
大谷禎之介著『マルクスの利子生み資本論 (全 4 巻)』	大友敏明
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 アメリカ労働運動の公害問題への取り組み ——OCAW Local 3-631 のデルタ製油所争議を事例として	鈴木 玲
所報	2017年1月

2017年6月号 No.704

【特集】女性の管理職への「昇進」(2)	
係長への昇進におけるジェンダーと職場属性	村尾祐美子
女性の昇進をめぐる意識とマネジメント	金井 郁
「昇進させない企業」をなくすための法的戦略	相澤美智子
■論文	
非正規化が正社員の人材育成に与える影響——A大学職員の事例分析	南雲智映・平井光世・梅崎修
■資料紹介	
大原社会問題研究所蔵・洋新聞 ——欧米社会主義政党・労働組合等の機関紙群について	伊東林蔵
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 外国人技能実習生の基幹労働力化とその含意	永田 瞬
所報	2017年2月

2017年7月号 No.705

【特集】企業パターナリズムの国際比較	
特集にあたって	石原俊時
信頼、忠誠および交渉	ピョン・ホリピイ、 クリステル・エリクソン ／石原俊時 監訳
フランス企業パターナリズムの歴史的位罫	齊藤佳史
近代日本のパターナリズムと福利施設	榎 一江
■特別寄稿	
画家・新海覚雄と戦後社会運動——《真の独立を闘いとうろ》までの道	武居利史
■論文	
戦前期日本における経営理念 ——武藤山治とバーナードにおける組織観の分析を通して	中川宗人
■読書ノート	
竹中恵美子著作集（全7巻）を読む	北 明美
所報	2017年3月

2017年8月号 No.706

【特集】近現代の対馬における朝鮮人と現地社会	
特集にあたって	慎蒼宇
明治期の対馬と朝鮮半島	檜皮瑞樹
植民地期の対馬における朝鮮人	慎蒼宇
日本敗戦以降の対馬をめぐる朝鮮・韓国人の在留・移動	宮本正明
対馬在留朝鮮人の「解放五年史」	鄭栄桓

証言 解放前後の対馬における朝鮮人の生活と運動——辛正寿氏に聞く	
■書評と紹介	
金成垣著『福祉国家の日韓比較——「後発国」における雇用保障・社会保障』	真殿仁美
有田伸著『就業機会と報酬格差の社会学——非正規雇用・社会階層の日韓比較』	横田伸子
月例研究会 GLHN のニューデリー会議に参加して	木下 順
所報	2017年4月

2017年9・10月号 No.707・708

【特集】労働者文化運動論——1950年代の日本	
特集にあたって	篠田 徹
1950年代うたごえ運動論	河西秀哉
1950年代の労働映画と労働組合文化運動	鈴木不二一
総評論序説——1950年代労働者文化論への視角をてがかりに	篠田 徹
■資料紹介	
グローバル・レイバー・ヒストリーの成果と課題 訳者解説	マルセル・ファン・デア・リンデン 木下 順
■講演	
失業対策史研究を振り返る	加瀬和俊
■書評と紹介	
辻智子著『繊維女性労働者の生活記録運動——一九五〇年代サークル運動と若者たちの自己形成』	松田 忍
堀林巧著『中東欧の資本主義と福祉システム——ポスト社会主義からどこへ』	小川有美
Aya Ezawa, <i>Single Mothers in Contemporary Japan: Motherhood, Class, and Reproductive Practice</i>	田宮遊子
法政大学大原社会問題研究所 2016年度の歩み	
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 子どもの貧困に関する自治体調査と児童扶養手当	藤原千沙
所報	2017年5・6月

2017年11月号 No.709

【特集】公害資料館を考える	
特集にあたって	清水善仁
公害資料館ネットワークの意義と未来	林 美帆
歴史学の立場から見る公害資料館の意義と課題	小田康徳
公害経験の継承における課題と可能性	清水万由子
■論文	
平和擁護運動における討論集会の形成（1952-1953年）	長島祐基
■証言：戦後社会党・総評史	
政権と社会党——浜谷惇氏に聞く	
■書評と紹介	
山下麻衣著『看護婦の歴史——寄り添う専門職の誕生』	早川佐知子
筒井正夫著『巨大企業と地域社会——富士紡績会社と静岡県小山町』	金子良事

社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 2016年度法政大学大原社会問題研究所叢書 『環境政策史——なぜいま歴史から問うのか』	西澤栄一郎・喜多川進
所報	2017年7月

2017年12月号 No.710

【特集】モンドラゴン——労働者協同組合の現在	
特集にあたって	西澤栄一郎
モンドラゴンの現在と研究の到達点	石塚秀雄
モンドラゴン協同組合が果たす地域での役割	坂内 久
モンドラゴンに学ぶわが国農協改革のあり方	両角和夫
■論文	
戦後型学歴身分制の形成——三菱電機の1948年身分制度改訂	鈴木 誠
■書評と紹介	
粟倉大輔著『日本茶の近代史——幕末開港から明治後期まで』	落合 功
Adam Tompkins, <i>Ghostworkers and Greens : The Cooperative Campaigns of Farmworkers and Environmentalists for Pesticide Reform</i>	鈴木 玲
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 下野恵子著『「所得増税」の経済分析——日本における財政再建と格差縮小』 について	古市将人
所報	2017年8月

2018年1月号 No.711

【特集】子どもの貧困を問う——日本とEUの経験から	
特集にあたって	原 伸子
EUにおける「子どもの貧困」問題	メアリ・デイリー／ 原 伸子 訳
日本におけるシングルマザー、福祉改革、貧困	江沢あや／ 鈴木 玲 訳
日本における「子どもの貧困」問題	藤原千沙
■論文	
「名誉の負傷者」とは何か——「癡兵」にみる名誉性の保持と抑圧	松田英里
■資料紹介	
大原社会問題研究所所蔵『水平新聞』について——修復・保存・公開	中村美香
■書評と紹介	
本田一成著 『チェーンストアの労使関係——日本最大の労働組合を築いたZモデルの探求』	浅見和彦
イアン・ゲートリー著／黒川由美訳 『通勤の社会史——毎日5億人が通勤する理由』	佐藤伴近
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 日本における国家社会主義運動と女性	海妻径子
所報	2017年9月

2018年2月号 No.712

【特集】近年の労働市場法の動向と課題	
特集にあたって	浜村 彰
労働市場法の現状と課題	沼田雅之
職業安定法の改正と公的職業紹介をめぐる課題	河村直樹
労働者派遣法の立法・改正論議から見た労働者派遣の基本的意義づけと政策原理	浜村 彰
2015年労働者派遣法の批判的検討	中野麻美
■証言：戦後社会党・総評史	
社会党本部書記から中央執行委員を振り返って——海野明昇氏に聞く	
■書評と紹介	
首藤若菜著『グローバル化のなかの労使関係——自動車産業の国際的再編への戦略』	鈴木不二一
道場親信著『下丸子文化集団とその時代——一九五〇年代サークル文化運動の光芒』	大串潤児
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 大原社会問題研究所と社会事業・福祉研究——小河滋次郎との関連を中心に	藤原千沙
所報	2017年10月

2018年3月号 No.713

【特集】環境運動と労働運動の接点——歴史的、国際比較の視点から	
特集にあたって	鈴木 玲
公害反対運動と労働運動の接点をめぐる試論——1950～73年に焦点をあてて	友澤悠季
北九州の「青空がほしい」公害反対運動における主婦の活動	アンナ・シュラーデ/ 鈴木 玲訳
オーストラリアの労働組合による環境保護運動——green ban を例として	長峰登記夫
アメリカの労働運動の環境問題への取り組み、環境運動との連携——労使関係の文脈からの分析	鈴木 玲
■書評と紹介	
下野恵子著『「所得増税」の経済分析——日本における財政再建と格差縮小』	古市将人
猿田正機著『トヨタ研究からみえてくる福祉国家スウェーデンの社会政策』	石原俊時
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所
月例研究会 米国における労働時間法制の歴史的展開	神野圭介
所報	2017年11月